

開催報告

2016年度 留学生メンタルヘルス支援シンポジウム

多様な文化と向き合う姿勢、留学生メンタルヘルスの理解 (2016年7月17日)

公益財団法人 パブリックヘルス リサーチセンター ストレス科学研究所

<https://www.phrf.jp/ssl>

ストレス科学研究所 留学生メンタルヘルス支援事業では、留学生の良好なメンタルヘルスを支援する人のためのシンポジウムを開催いたしました。2016年度は早稲田大学小野記念講堂にて開催し、大学、日本語学校教職員を中心に120名にご参加いただきました。

第2回のシンポジウムは支援する人にフォーカスし、より実際の支援にお役立ていただけるよう「多様な文化と向き合う姿勢、留学生メンタルヘルスの理解」をテーマに開催いたしました。

第1部では横田雅弘先生（明治大学）より「多様性に向き合う姿勢を育む」ために「何を考え、獲得すべきか」、「多様性に向き合う姿勢を育むための観点」、偏見を低減効果を持つ「ヒューマンライブラリー」をご解説いただきました。



第2部は「留学生メンタルヘルスの理解」として、留学生対応の最前線におられる先生方のお話を伺いました。留学生相談窓口にて対応されている大西晶子先生（東京大学）より、相談に訪れる留学生の訴え、相談の機会を増やす試みについてお話をいただきました。堀正士先生（早稲田大学）より大学保健センターのお立場から、精神疾患理解の基礎ならびに留学生の精神疾患についてご解説いただき、また対応する教職員の心得をご助言いただきました。



続く第3部のパネルディスカッションでは、山本晴義先生（横浜労災病院）の司会にて、参加者の皆様からのご質問を中心に、3名の先生方にご回答、ご議論をいただきました。

アンケートより▶▶

指導のヒントが得られればと参加した。専門家の方でも、できることとできないことがあり、教職員であればなおさら指導できることに限界がある。「抱え込まない」ことが大切で、学習者との距離感、バランスを見ることの重要性というお話は大変参考になった。/より詳細な事例検討のワークショップのある企画があればいいなと思います。

プログラム

第1部 多様性に向き合う姿勢を育む

横田 雅弘先生（明治大学日本国際学部）

第2部 留学生メンタルヘルスの理解

留学生の多様な症状・問題の訴え方の理解を深める 大西 晶子先生（東京大学 国際センター）

留学生における精神障害 堀 正士先生（早稲田大学 教育・総合科学学術院・保健センター）

第3部 パネルディスカッション（司会：山本 晴義先生（横浜労災病院））